

『過去問 CD 付 IT パスポート スーパー合格本 2010 年版』
 <正誤表>

●26 ページ 下段

【誤】 例題 1

【正】 例題 3

●30 ページ 損益分岐点 本文 1 行目

【誤】 分岐点となるが

【正】 分岐点となるのが

●36 ページ 例題 3 解説 下から 2 行目の式

【誤】 $300 \div 1000 = 0.3$

【正】 $3,000 \div 10,000 = 0.3$

●36 ページ 例題 3 解説 下から 1 行目の目標売上高の式

【誤】
$$\frac{5,200 + 1,400}{1 - 0.75}$$

【正】
$$\frac{5,200 + 1,400}{1 - 0.25}$$

●37 ページ 例題 5 解説 2 行目

【誤】 自己資本 = 資本金 + 法定準備金 + 任意積立金 + 当期未処分利益

【正】 自己資本 = 資本金 + 資本剰余金 + 任意積立金 + 当期未処分利益

●39 ページ 著作者人格権と著作者財産権の違い 本文 1 行目

【誤】 著作者人格件

【正】 著作者人格権

●129 ページ 例題 平成 21 年春 中間 C 問 97~100 問題文中の表

【訂正】 「表 通販業務 1 人で担当するとき要する 1 週間の平均作業時間」を以下の表と差し替えます。

社員	平均作業時間 (時間/週)
A	36
B	45

●134 ページ 例題 1 の出典

【誤】 シラバスサンプル問題 33

【正】 シラバスサンプル問題 32

●134 ページ 例題 1 解答例

【誤】 【解答例】 ウ

【正】 【解答例】 イ

●135 ページ 例題 6 解答例

【誤】 【解答例】 エ

【正】 【解答例】 イ

●146 ページ 例題 3 の出典

【誤】 シラバスサンプル問題 38

【正】 シラバスサンプル問題 37

●147 ページ 例題 3 解答例

【誤】 【解答例】 イ

【正】 【解答例】 エ

●152 ページ 例題 3 問題文

【誤】 次の論理式のうち、 $X \cdot Y + X \cdot \bar{Y}$ と等しいものはどれか。ここで “ \cdot ” は論理積、“ $+$ ” は論理和、 \bar{X} は X の否定を表す。

【正】 次の論理式のうち、 $X \cdot \bar{Y} + \bar{X} \cdot Y$ と等しいものはどれか。ここで “ \cdot ” は論理積、“ $+$ ” は論理和、 \bar{X} は X の否定を表す。

※153 ページのウの解答では $\bar{X} \cdot Y + X \cdot \bar{Y}$ と表記されているが、左右の項が入れ替わっているだけで上記訂正と同じ式。

●155 ページ 例題 1 解説および別解の解説の最後の式

【誤】 $= 1/47$

【正】 $= 47/100$

●290 ページ 下段の図

【訂正】 図の左側に「ルータ B」が2つありますが、正しくは上のルータは「ルータ A」になります。

●294 ページ 中段および下段の図

【訂正】 図の左側に「ルータ B」が2つありますが、正しくは上のルータは「ルータ A」になります。

●310 ページ 下段 スпамメールの図

【誤】 返信のあったアドレスを実在する「有効なアドレス」として収集

【正】 宛先不明エラーとして返らなかったアドレスを「有効なアドレス」として収集

●346 ページ 例題 11 解答群

【誤】 ア 内容の圧縮 イ 内容の暗号化と署名

ウ 内容の開封通知 エ 内容の再送

【正】 ア 内容の圧縮 イ 内容の暗号化と署名

ウ 内容の開封通知 エ 内容の再送

●367 ページ 中段

【誤】 ■テクノロジー系分野 (37 問)

【正】 ■テクノロジー系分野 (36 問)

●377 ページ 上段

【誤】 ■中間形式の問題 (7 問)

【正】 ■中間形式の問題 (8 問)

●382 ページ 問 1 解答例

【誤】 解答例 ア

【正】 解答例 イ

●389 ページ 問 28 解答例

【誤】 解答例 エ

【正】 解答例 ウ

●400 ページ 問 77 解答例

【誤】 解答例 エ

【正】 解答例 ア

●401 ページ 2 行目

【誤】 したがってこれを満たすのはエです。

【正】 したがってこれを満たすのはアです。

<本書サポートサイト>

<http://www.shuwasystem.co.jp/support/7980html/2498.html>

<秀和システム>

<http://www.shuwasystem.co.jp/>